

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	一般廃棄物不法投棄監視				開始年度	平成17年度	
基本目標	快適でうるおいのある生活文化環境の整備				終了年度		
担当課(局)	町民生活課	担当係	環境保全係	記入者	上杉真理	評価者	三浦 敏
20年度決算	113	千円	21年度予算	120	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	2,156 千円		21年度人件費	146 千円		事業従事者数	0.30 人 0.02 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	町内の環境美化
事業の内容	町内の公的施設への不法投棄の監視及び不法投棄通報への対応

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 巡回監視	巡回監視にて不法投棄の抑制を図る 200日
	2 看板設置	投棄多発箇所への看板設置 10箇所
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 投棄廃棄物回収	公的施設(町道等)への投棄廃棄物を回収。
	2 原因者究明	投棄物の中に原因者を示すものが混入されているかを確認、究明。
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度	
成果指標	巡回監視	目標値	245	243	150	
		実績値	230	190		
		達成率	93.9%	78.2%		
	看板設置	目標値	箇所	5	10	10
		実績値		20	10	
		達成率	%	400.0%	100.0%	
			#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標	投棄廃棄物回収	目標値	kg	1,500	1,500	1,000
		実績値		1,200	800	
		達成率	%	80.0%	53.3%	
	原因者究明	目標値	件	2	2	0
		実績値		3	5	
		達成率	%	150.0%	250.0%	
			0			
				#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	不法投棄等による廃棄物は、施設の所有者(管理者)にて処理を行うものであり、町の管理施設については、町が行うものとする。(本来施設を管理する担当課にて行うべき) 悪質な投棄に関しては、警察との連携を図っている。 この事業を廃止した場合、町道等へのポイ捨て等による廃棄物の散乱により、環境美化が損なわれる。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	町道等への廃棄物の投げ捨ての減少。 原因者を示すものがあつた場合は、原因者への指導を行い、悪質な投棄者に関しては警察との連携を図り、罰金等の実例もある。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	町道等への廃棄物回収及び看板の設置で、安易な投棄は減少している。 巡回監視を効率的に行うことで、ガソリン代等に係る経費の削減は可能であるが、啓発看板等の設置は必要と
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	道路や海岸については、多くの団体によりボランティア清掃による投棄廃棄物の収集。

事務事業名	一般廃棄物不法投棄監視	担当課(局)	町民生活課
-------	-------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当者の方針に対する評価者としての所見</p> <p>◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>町内ゴミの不法投棄は、本町の住民に限ったことではないと考えられるが、これは国民のモラルと考えられる。</p> <p>現段階では、町内監視・巡視を続けざるを得ないと考えられるが、「イタチごっこ」のように思える。</p> <p>今後は、不法投棄の監視だけでなく幼少期からの教育、または成人者への啓発にも力を注ぐべきものとする。</p>	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充				
				現状維持			○	
				縮小				
				廃止				
		廃止	縮小	現状維持	拡充			
コスト								

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎方針どおりに推進してもらいたい。
	コスト	現状維持	